

オアシス通信



ひかりのこども ビー玉万華鏡

六月二十五日(土) ひかりのこどもスペシャルとしてビー玉万華鏡作りをしました。二十五人のお友だちが参加しました。思い思いに模様をつけて個性豊かな万華鏡が出来上がりました。工作の後は、山本兄からアカイの紙芝居とお話を聞きました。

皆さんは、天の故郷をどのようにイメージしておられますか。黙示21…3と4によると、天国では、死もなく、悲しみ、叫び、苦しみもありません。

六月二十五日(土) ひかりのこどもスペシャルとしてビー玉万華鏡作りをしました。二十五人のお友だちが参加しました。思い思いに模様をつけて個性豊かな万華鏡が出来上がりました。工作の後は、山本兄からアカイの紙芝居とお話を聞きました。

KBI 天国のメッセージ 大田師

六月十二日の礼拝に、関西聖書学院(KBI)学院長の大田裕作先生ご夫妻をお迎えして特別礼拝を持ちました。先生は、ヘブル11章8節と16節より、アブラハムの生涯から「天の故郷にここがれて」というタイトルで、ユーモアたっぷり、情感たっぷり、しかし真剣に、天国の故郷を求めて生きるよう勧め、励まして下さいました。メッセージの一部を引用します。



黙示21…8。問題は、誰が天国に行くのかということ。『いのちの書に名のしるされている者』だけが、天国に入ることが出来ます。

野田朋香師を迎え サマーリサイタル

六月二日に野田朋香先生をお迎えして、女性会でサマーリサイタル&ランチョンを開催、百名近い参加がありました。最初に荒井純恵姉の伴奏でオー・ソレ・ミオを熱唱。素晴らしい歌の世界へと引き込まれました。

変わらぬものを求めている中でイエス・キリストに出会い、「私の歌を使ってください」と祈ったと証しされました。最後に「ふるさと」はクリスチャンが作った歌だと紹介し、皆で一緒に歌いました。

3姉姉歓迎の洗礼式

六月十九日午後、本教会の



うたごえ広場開く

5月21日(土)、ジョイフルコーラスの特別企画「第1回うたごえ広場」が開催されました。25名が参加し、野田姉の指導のもと懐かしい歌、美しい唱歌などを歌うことができました。美濃市の鈴木下さんがピアノ伴奏を担い、盛り上げてくれました。ラジオ体操、輪唱もプログラムに盛り込まれ、好評だったようです。

途中でティータイムがあり、交わりの時を楽しみました。(岡本)



田口信(まこと) 兄と、大垣の田中ユカリ姉、五十嵐ユキミ姉の三人の洗礼式が執り行われました。十八歳の信兄は、昨年七月に水難事故で父親を失いましたが、その後教会に集うようになり、二人の弟に続いての洗礼となり、教会では、賛美チームの中でドラムの奉仕を始めています。ユカリ姉は、十年前に小児白血病で大きな試練に会いましたが、幸い主の癒しをいただき、今では中学生ながら大垣で賛美チームのヴォーカルの一人として歌い始めています。ユキミ姉は、自分の性格のことで主の助けを願うようになり、受洗を決意しました。賛美が大好きな中学生です。